

★新規事業開拓・農参入をお考えの方へ。参入後の事業運用にお困りの方々への特効薬!

# アグリビジネス新規参入の判断と手引き

～異業種からの参入事例集／ビジネス性の考察と将来展望～

発刊：2016年1月20日 定価：70,400円(税込(消費税10%)) 体裁：B5判ソフトカバー 609頁

何が障壁となるのか?事業化成功のポイントとは?参入事例から見るアグリビジネス最前線!

- ◆国内外の市場動向から見るアグリビジネスの可能性
- ◆植物工場／薬用植物／陸上養殖／藻類 各事業別の取り組み事例
- ◆異業種からの農業新規参入事例 11例
- ◆不首尾・撤退事例から見る参入時の経営戦略分析～失敗しない為には?事業成功のカギとは～
- ◆アグリビジネス将来展望・国内農業再生論～一次産業としての農業～

## <事業化に向けての基礎知識>

- ビジネスモデル構築指南  
～生産・販売・事業成功の為の考え方～
- 国内市場及び農業参入の動向
- 行政書士2名による農業参入に関わる法規制解説  
～農地確保／補助金利用方法／参入への具体的手順
- 各省庁が考える農業施策意向(農林水産省／経済産業省)
- 何を作れば良いのか?今後注目の品目、分野
- 国内農業再生の具体的方策

## <異業種からの農業参入事例>

- 既存事業での経験をどう活かし、立ち上げたか?
- 運用・管理上のトラブルと対応策
- イニシャルコストと収支一例
- ブランド化・商品として付加価値を高める為の取り組み
- 流通・販路開拓の取り組み
- 経験に基づいた、参入検討者へのアドバイス  
(近隣との交流／害獣・災害対策／人的・設備管理／採算性／農業を行う上での心構え・・・)

## <事業内容別アグリビジネス参入事例>

- 各事業の現状及び事業化への課題  
(植物工場／薬用植物／陸上養殖／藻類)
- 各社の取り組み事例  
・栽培技術／養殖技術／機能性成分向上手法紹介  
・運用における課題  
・各分野の将来性と可能性考察

## <不首尾・撤退事例の要因分析>

- 事業撤退までの過程と要因分析  
(なぜ失敗したか?成果を上げていたその裏では・・・)
- 異業種から農へ参入にあたっての留意点  
(工程管理、労務管理の違いなど)
- 失敗事例から学ぶ、事業化成功への鍵  
(理念の共有／地域社会との係り方／革新性の重要性／パートナー選定／司令塔の存在／契約の方法など)

## 【執筆者一覧(敬称略)】

- 三輪泰史(株)日本総合研究所 ●埜野俊介(農林水産省) ●田中康晃(田中やすあき行政書士事務所) ●川村朋哉(経済産業省)
- 前之園博一(前之園行政書士事務所) ●松尾誠也(株式会社NP) ●森康裕((-財)社会開発研究センター) ●渡邊高志(熊本大学)
- 遠藤雅人(東京海洋大学) ●鷲見芳彦(北海道大学) ●岩佐大輝(株)GRAアグリプラットフォーム ●渡辺周(株)GRAアグリプラットフォーム)
- 高橋大喜(日本アドバンスアグリ株) ●山本将嗣(日本アドバンスアグリ株) ●小豆澤斉((株)農援隊) ●荻原勲(東京農工大学)
- 田中逸夫(岐阜大学) ●菱田敦之(医薬基盤・健康・栄養研究所) ●林 茂樹(医薬基盤・健康・栄養研究所) ●野口勝明((株)環境生物化学研究所)
- Aragon St-Charles(日本アクアポニクス) ●福永 哲也(出光興産株) ●鈴木健吾(株)ユーグレナ ●澤田裕樹(鹿島建設株) ●大仲克俊(岡山大学)
- 藤本真狩(イノプレックス) ●田中利忠(株)湘南情報東京 ●谷澤孝欣(パナソニック株)エコソリューションズ社 ●由井真子(日本豊受自然農株)
- 山本寛(近鉄グループホールディングス株) ●杉本明義(矢崎総業株) ●小川弘樹(株)コロナアグリ ●渡邊康之(諏訪東京理科大学)
- 建部真一(株)ヴェルデオンコンサルティングジャパン ●武田猛(株)グローバルニュートリショングループ)

FAX : 03-5740-8766、または、→<http://www.johokiko.co.jp> にて

※FAX番号はくれぐれお間違えの無い様お願い致します。

## ★書籍申込書

(書籍申し込み要領)

- 右記記入の上、FAXでお申込を承ります。
- お申込書を確認次第、書籍、請求書および振込要領をお送りいたします。
- 未発刊の書籍をお申込の場合、申込書を確認次第、受領書をお送りいたします。  
発刊時に弊社より書籍、請求書および振込要領をご送付いたします(送料は弊社負担)
- お支払いは請求日翌月末日までに、銀行振込にてお願いいたします。原則として領収証の発行はいたしません。
- 振り込み手数料はご負担ください。
- ★ <http://www.johokiko.co.jp/> の申込みフォームからも承ります!

書籍名 H P 【BC160102】 アグリビジネス新規参入の判断と手引き 書籍		冊数 ____冊 ※記入の無い場合は1冊
会社名		
所属部課・役職等		
申込者氏名	TEL	FAX
E-MAIL	上司役職・氏名	
住所〒		
備考		
ご案内をご希望の場合は今後の案内方法にレ印を記入下さい(複数回答可) <input type="checkbox"/> e-mail <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> 郵送		

ご連絡頂いた、個人情報は弊社商品の受付・運用・商品発送・アフターサービスのため利用致します。今後のご案内希望の方には、その目的でも使用致します。今後のサービス向上のため「個人情報の取扱に関する契約」を締結した外部委託先へ、個人情報を委託する場合があります。個人情報に関するお問合せ先policy@johokiko.co.jp

構成及び内容

<p>&lt;第1部 アグリビジネスの概要と参入への具体的手順&gt;  <b>第1章 &lt;検討段階の貴方へ&gt;アグリビジネスを始める上での基礎知識</b>          1. アグリビジネスの定義と概要          2. バリューチェーンの全体像と主なプレイヤーの構成          3. 農業生産ビジネスに参入する上で考慮すべき法規制          4. 国内市場及び農業参入の動向          5. 海外市場への展開  <b>第2章 農業参入手続きの前提条件</b>          1. 農地確保までの基礎知識          2. 一般法人の農業参入基礎知識  <b>第3章 政府の農業関連支援施策</b>  <b>第1節 農林水産省の取り組み</b>          1. 六次産業化の政策的位置づけ          2. 六次産業化の推進に係る主な支援策          3. 六次産業化の更なる推進に向けて  <b>第2節 経済産業省の取り組み</b>          1. 農業は地域経済の基幹産業          2. 農商連携の推進          3. 農産物及び関連商品の輸出促進          4. 植物工場  <b>第3節 補助金制度</b>          1. 補助金のメリット・デメリット          2. 補助金の共通事項と申請スケジュール等          3. 国の補助金解説          4. 都道府県の補助金          5. その他の資金調達制度          6. まとめ  <b>第4章 形態に応じた参入の具体的手順</b>  <b>第1節 3つの参入形態</b>          1. 新規法人設立(新規に別法人を設立し農業生産法人化する)          2. 既存の法人を農業生産法人化する          3. 改正農地法を活用して農業参入する方法          4. 手続きの流れ(全体像)  <b>第2節 各参入形態の留意点</b>          1. 3つの方法の選択          2. 農地の確保          3. 手続き上の留意点  <b>第5章 ビジネスモデル構築</b>          1. 生産          2. 販売          3. ビジネス成功の為の考え方  <b>第6章 事業化の前に把握すべき主なアグリビジネス事業の現状と課題</b>  <b>第1節 完全人工光型植物工場</b>          1. 概要          2. 植物工場関連技術解説          3. LED植物工場の採算性と課題  <b>第2節 薬用植物</b>          1. 薬用植物の種類と概要(食用・薬用・観賞用)          2. 業界を取り巻く現状～中国の現状/日本の将来に向けた準備          3. 事業化に際しての課題～日本薬局方・生薬認可・薬価・栽培年数～  <b>第3節 陸上養殖</b>          1. 陸上養殖          2. 養殖技術          3. 業界を取り巻く現状          4. 今後の展望  <b>第4節 新規アグリビジネスとしての微細藻類の産業化</b>          1. 微細藻類への期待          2. 微細藻類活用の領域          3. 各マーケットの規模          4. 産業化プロセス構造とバリューチェーン          5. 産業化への取り組み          6. 震災復興への新産業構造構築</p>	<p>4. 施設栽培トマト生産に係る設備          5. イニシャルコストと収支          6. 実際の運用と課題          7. 生産体制          8. 付加価値を高めるための対策          9. 流通・販路開拓方法  <b>第4項 ブルーベリー</b>          1. ブルーベリーの種類と出荷時期          2. ブルーベリーの促成栽培法          3. 周年出荷する革新的な栽培法の提案          4. 果樹苗生産工場を核としたレンタル苗によるブルーベリーのビジネスモデル  <b>第5項 ワサビ</b>          1. ワサビ植物工場栽培の背景          2. ワサビの人工光型植物工場生産に向けて実施した基礎研究          3. コンテナ式植物工場でのワサビ栽培と採算性の評価          4. アグリビジネスとしての展望  <b>第6項 グリーンリーフ</b>          1. 光質別の電力均一試験(フリリアイス)          2. 三波長型ワイドバンドLEDの光質比較試験  <b>第2節 薬用植物</b>  <b>第1項 甘草</b>          栽培方法/環境適性/種苗/直播栽培と移植栽培品質/栽培の課題/事業化の事例  <b>第3節 陸上養殖</b>  <b>第1項 トラフグ</b>          1. 地域活性化          2. 陸上閉鎖循環養殖技術          3. 全国展開中の養殖場の現状と問題点  <b>第2項 アクアポニックス</b>          1. 再循環養殖技術から発展する近代アクアポニックス          2. だれがアクアポニックスを始めるのか?          3. アクアポニックス農園の始め方          4. アクアポニックスにおける脱窒          5. コストと未来開発  <b>第4節 藻類</b>  <b>第1項 微細藻類からのDrop-in-Fuel製造</b>          1. バイオマス燃料関連の政策・規制          2. Drop-in Fuel          3. 微細藻類からのDrop-in Fuel製造          4. まとめ          5. 今後の展望  <b>第2項 藻類の食品利用展開とその有用性</b>          1. ユーグレナの特徴と食利用の有用性について          2. クロレラの特徴と食利用の有用性について          3. オートチオキトリウムの可能性について          4. 総括  <b>第5節 参入者業種別参入事例</b>  <b>第1項 鹿島建設の植物工場エンジニアリングへの取り組み</b>          1. はじめに          2. 太陽光利用型植物工場に関する取り組み          3. 人工光型植物工場          4. 遺伝子組換え植物工場          5. 薬用植物生産のための植物工場に関する取り組み          6. おわりに  <b>第2項 空き施設活用型事例</b>          1. 空き施設活用型モデル          2. 空き施設活用型のメリット          3. ケース事例① 株式会社野菜工房(空き施設活用型モデル)          4. ケース事例② 株式会社ハートフルマネジメント(空き施設活用型モデル)  <b>第3項 ソフトウェア業界からの参入事例～観光農園</b>          1. 企業の農業参入 背景          2. 当社の農業参入目的          3. 大磯町の位置的優位性          4. 農業参入までの経緯          5. 観光農園の利用企業・利用検討企業          6. 野菜の販売ルート・流通          7. 農業参入の利点と難点          8. 補助金制度等(参考まで)          9. 農業参入から展開したコンサルティング事業          10. 農業参入の為のアドバイス  <b>第4項 社会福祉業界からの参入事例</b>          1. 障害者雇用型モデルの参入動向          2. 障害者雇用型モデルのメリット          3. ケース事例① 株式会社山形包徳(障害者雇用型モデル)          4. ケース事例② 社会福祉法人日本キリスト教奉仕団アガベ東京センター(空き施設活用型)  <b>第5項 自然化粧品事業からの参入事例</b>          1. 自然型農業&amp;6次産業化を特徴とするビジネスモデル</p>	<p>2. 農業参入のきっかけ          3. へちま ハーブの栽培と土地取得の失敗          4. 洞爺湖でのハーブ栽培1年目はまさかの全滅          5. 静岡・函南農場の立ち上げ          6. 食と農業の大切さに気付き農業に取り組む決心          7. 東京での豊受オーガニクスショップ&amp;レストラン          8. 新しいビジネスモデルの社会への発信          9. 6次産業化で取り組みビジネスとして成功させるには          10. 新規参入企業へのアドバイス  <b>第6項 運輸・鉄道業界からの参入事例</b>          1. 近鉄グループの概要          2. 農業ビジネス参入の背景          3. 近鉄ふあーむ花吉野の特徴          4. これまでの経験          5. 今後の展開  <b>第7項 食品メーカーからの参入事例</b>          1. 食品企業の農業参入の現状          2. 食品企業の農業参入で抱える課題          3. 惣菜販売・加工企業T法人の農業経営の展開          4. 酒造メーカーの農業参入ー水田農業分野への農業参入ー  <b>第8項 部品・部品会社からの参入事例</b>          1. 奥越部品(株)の食品リサイクル事業への取り組み          2. おからスーパー有機の製造          3. 奥越部品(株)のアグリ事業          4. 今後の取り組み  <b>第9項 機器メーカーからの参入事例</b>          1. 農業参入の背景          2. 農業生産法人の設立          3. 事業計画と運用の課題          4. 販路開拓事例          5. 企業の農業参入の意義  <b>第10項 電気メーカーからの参入事例</b>          1. はじめに          2. 参入背景          3. 当社が提案するパッシブハウス型農業プラントのシステム・機器構成          4. 生産者メリット          5. 立ち上げ過程          6. 課題と今後の展開  <b>第11項 有機薄膜太陽電池を用いた発電するビニールハウスの取り組み事例</b>          1. 参入背景          2. 発電するビニールハウス開発のためのコンセプト          3. シースルー有機薄膜太陽電池を用いた植物栽培実証実験          4. 農業用シースルー有機薄膜太陽電池開発の指針          5. 発電するビニールハウスのモデル例          6. ソーラーシェアリングとの比較          7. 事業化に向けて  <b>第8章 不首尾・撤退事例と要因分析～よく見られる特徴とリスク低減プラン～</b>  <b>第1節 異業種からの農業分野への参入事例研究</b>          1. 異業種から農への参入に当たっての留意点          2. 企業の農業参入事例研究          3. 本事例から学ぶこと  <b>第2節 香港での植物工場設立についてその計画・実践・成功及び失敗</b>          1. 何故進出したのか          2. プロジェクトとリスク          3. 完成と成功          4. 結末          5. まとめ          6. おわりに(参入検討者へ向けて)</p> <p><b>第3部 今後の注目分野とアグリビジネスの将来性</b>  <b>第9章 注目トピックス</b>  <b>第1節 機能性表示制度改正</b>          制度の概要/届出状況/今後の課題          機能性表示食品制度導入による市場の変化  <b>第2節 特徴ある成分を含有した薬用植物の栽培</b>          閉鎖型植物工場を活用した遺伝子組換え植物/南九州のシラスを含む畑でも栽培可能な品種/多雪地帯で栽培可能な品種/温暖多湿な地域で栽培可能な品種 etc  <b>第10章 アグリビジネス将来予測～業界展望の考察～</b>          1. 日本の農業の状況          2. 日本の農業政策          3. 農業の再生          4. アグリビジネスの将来予測  <b>第11章 アグリビジネスよくあるQ&amp;A</b>  <b>第1節 アグリビジネス全般</b>  <b>第2節 植物工場</b> ・栽培、販売時に係る法律は?  <b>第3節 薬用植物</b> ・今後の市場性と有望テーマは?  <b>第4節 陸上養殖</b> etc</p>
---	--	---